

## 第2学年1組 算数科学習指導案

### 1 単元名 「100より大きい数をしらべよう」

### 2 単元について

#### (1) 児童観

省略

#### (2) 教材観

第1学年では、100までの数について、10まで、40まで、100までと少しずつ数範囲を拡張しながら、その読み方、書き方、及び数の系列、順序、大小について学習してきた。また簡単な3位数(120程度)について、おもに数えたり、数を唱えたりすることを中心に指導がなされてきている。第2学年では、数の範囲を10000(一万)まで拡張する。本単元では1000までの数を扱い、10000までの数については第13単元で指導する。

本単元では、数範囲を1000まで拡張し、1000についての数の読み方、書き方、及び数の系列、順序、大小について理解を深めること、さらに、数や式の大小、相当関係を不等号、等号を用いて表せるようになることをねらいとしている。また、数の相対的な大きさや数の構成の理解を深めることを意図して、何十、何百の計算も取り上げている。

#### (3) 指導観

本単元では、1000までの数について、意味や表し方を習得させ、数についての概念を深めるとともに、数を用いる能力を伸ばしていく。児童が自ら進んで考えるために、具体物(クリップ・お金・色紙)や半具体物(数カード)を用い、実際の数や量の大きさを確かめる活動を取り入れる。そうした中で、数についての感覚を豊かにさせるとともに、「算数は楽しい」、「算数は面白い」、「算数は素晴らしい」といった、算数的活動の楽しさにも気付かせていきたい。

また、第1学年で学習してきた「10のまとまり」「10が10こで100」という数の相対的な大きさと結び付けて、学習対象を1000までの数に拡張する。それによって、位を単位とする数が10になると次の位に進み、10に満たないは数がそれぞれの位の数字として表わされることと、位置によってその単位の大きさを表す数が示されるという十進取り記数法の有用性、簡索性に気付かせていきたい。

### 3 K4(課題、活動、確認、価値付け)の視点との関連

- ① 課題 … 課題を書かせ、読ませることで、45分の授業の流れを確認する。
- ② 活動 … 課題を解決するために、見通しをもって、具体物・半具体物を用い、活動させる。
- ③ 確認 … 課題解決の過程を発表し、お互いの考え方、相違点を確認する。
- ④ 価値付け … 今日学んだこと・感じたことを書かせ、各自が身につけたことを明らかにさせる。

### 4 単元の目標

- 10や100のまとまりにして数えるよさに気づき、十進位取り記数法と関連づけてとらえたり、計算の仕方に活用したりしようとしている。【関心・意欲・態度】
- 十進位取り記数法の仕組みを考え表現したり、数を相対的な大きさからとらえたりすることができる。【数学的な考え方】
- 3位数について、書いたり読んだりするとともに、数や式の大小・相当関係を、不等号や等号を用いて表すことができる。【技能】
- 3位数について、数の読み方や表し方、数の構成や大小、順序、数の相対的な大きさを理解しようとしている。【知識・理解】

## 5 単元の評価規準

	ア 関心・意欲・態度	イ 数学的な考え方	ウ 技能	エ 知識・理解
単元の評価規準	・10や100のまとまりにして数える良さに気づき、十進位取り記数法と関連付けてとらえたり、計算の仕方に活用したりしようとしている。	・十進位取り記数法の仕組みを考え表現したり、数を相対的な大きさからとらえたりすることができる。	・3位数について、書いたり読んだりするとともに、数や式の大小・相等関係を、不等号や等号を用いて表すことができる。	・3位数について、数の読み方や表し方、数の構成や大小、順序、数の相対的な大きさを理解している。
学習活動に即した評価規準	① クリップの数を10や100のまとまりにして数えようとしている。 ② 学習内容を適切に活用して、活動に取り組みようとしている。	① 230などの数を、10を単位としてとらえることができる。 ② 1000までの数の多様な見方について考え、説明している。 ③ 何十±何十、何百±何百などの計算の仕方を、数の構成に着目して考え、説明している。	① 3位数を読んだり、書いたりすることができる。 ② 位数の構成を等式で表すことができる。 ④ 数直線状に表された数を読んだり、数を数直線用に表したりすることができる。 ⑤ 何十±何十、何百±何百などの計算ができる。 ⑥ 数の大小関係を不等号を用いて式に表すことができる。 ⑦ 数や式の大小、相等関係を不等号、等式を用いて式に表すことができる。	① 3位数の読み方や表し方を理解している。 ② 3位数の各位の数字はそれぞれ100、10、1の単位の個数を示し、10以上の数が入らないことを理解している。 ③ 百を10こ集めた数を「千」と言い、「1000」と書くこと、及び、1000付近の数を理解している。 ④ 不等号「>」「<」の意味を理解している。 ⑤ 基本的な学習内容を身に付けている。

## 6 指導と評価の計画（13時間扱い）

時	目標	学習活動・学習内容	評価規準・評価方法
1 (本時)	○3位数の読み方や表し方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真を見て、235個のクリップの数を工夫して数える。</li> <li>・235の数の構成と命数法、記数法を知る。</li> <li>・クリップの数を数字で表す。</li> <li>・用語「百の位」を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆アの①</li> <li>◆ウの①</li> <li>◆エの①</li> <li>・課題に取り組む様子や態度の観察。</li> <li>・プリント。</li> <li>・発表やつぶやき。</li> </ul>
2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・206個のブロックの数を数字で表す。</li> <li>・鉛筆や色紙の数を数字で表す。</li> <li>・3位数を書いたり読んだりする。</li> </ul>	
3	○数カードを並べて数を表すことを通して、3位数の位取りの仕組みや数の構成を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・位取り板と数カードを使って、各くらの数を読み取ったり、3位数を数カードで表したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ウの②</li> <li>◆エの②</li> <li>・ノート。</li> <li>・机間指導。</li> </ul>
4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・3位数の構成をもとにした表し方（合成・分解）を練習する。</li> <li>・3位数の構成を、等式を使って表す。</li> </ul>	

5	○数の相対的な大きさを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10円玉が14枚でどれだけになるかを、10を単位にして考える。</li> <li>・230円は10円玉で何枚になるかを、10を単位にして考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆イの①</li> <li>・ノート。</li> <li>・発表。</li> </ul>
6	○数直線の読み取りを通して、3位数の大小、順序を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数直線を見て指示された目盛の数を読んだり、数直線上に表したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ウの③</li> <li>・ノート。</li> <li>・机間指導。</li> </ul>
7	○1000の構成、数の読み方、書き方及び1000付近の数を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図の●の数を工夫して数え、百を10こ集めた数を「千」といい、「1000」と書くことを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆エの③</li> <li>・発表やつぶやき。</li> <li>・机間指導。</li> </ul>
8	○1000までの数の構成を多面的にとらえ、数の見方を豊かにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・780を、いろいろな表し方で表す。</li> <li>・50とびで数を数えたり、大きい数から小さい数へ順に2とびで唱えたりする活動に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆イの②</li> <li>・プリント。</li> </ul>
9	○何十±何十、何百±何百などの計算の仕方を理解し、その計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10枚の束の色紙の絵を見て、<math>50+70</math>、<math>120-30</math>の計算の仕方を考える。</li> <li>・100枚の束の色紙の絵を見て、<math>300+200</math>、<math>600-200</math>の計算の仕方を考える。</li> <li>・数の構成（100がいくつ）に基づいて、計算の仕方を考える。</li> <li>・数の構成（何百といくつ）に基づいて、<math>500+30</math>などの計算の仕方を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆イの③</li> <li>◆ウの④</li> <li>・プリント。</li> <li>・発表やつぶやき。</li> </ul>
10	○不等号「>」「<」を知り、数の大小関係を式に表すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの学校の児童数の大小を比較する。</li> <li>・不等号「&gt;」「&lt;」を用いた式の表し方を知り、数の大小を不等号を用いて表す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ウの⑤</li> <li>◆エの④</li> <li>・プリント。</li> <li>・発表やつぶやき。</li> </ul>
11	○数や式の大小、相等関係を不等号、等号を用いて、式に表すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を読み、150円で買える品物を調べる。</li> <li>・数と式の大小、相等関係の表し方を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ウの⑥</li> <li>・プリント。</li> <li>・発表やつぶやき。</li> </ul>
12	○算数的活動を通して学習内容の理解を深め、数についての興味を広げる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[やってみよう]以下の活動に取り組む。</li> <li>・身の回りから3位数までの数が使われている場面を探し、数には、物の大きさを表しているものと、表していないものがあることを知る。</li> <li>・数比べゲームに取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆アの②</li> <li>・課題に取り組む様子や態度の観察。</li> </ul>
13	○学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「しあげのもんだい」に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆エの⑤</li> <li>・プリント。</li> <li>・発表やつぶやき。</li> </ul>

## 7 本時の学習指導（本時 1 / 13時）



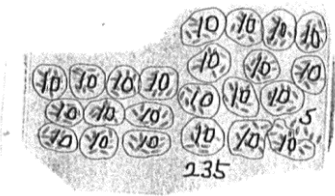

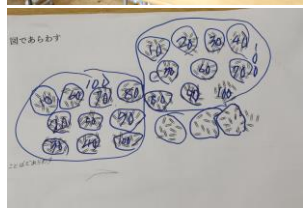

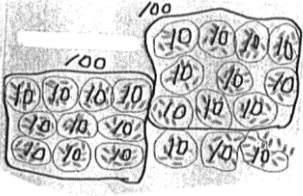
### (1) 目標

○3位数の読み方や表し方を理解する。

### (2) 評価規準

・クリップの数を10や100のまとまりにして数えようとしている。【関心・意欲・態度】

### (3) 展開

学 習 活 動	予想される児童の反応・活動 (・)	指導上の留意点 (○)	時間
<p>1 本時の問題を把握する。 〈問題〉</p> <div data-bbox="338 257 812 327" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> クリップは何こありますか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数が多い。</li> <li>・100個以上。</li> <li>・200個以上。</li> <li>・300個以上。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○司会係が授業を進める。</li> <li>○聞いていることに赤ラインをつけさせる。</li> </ul> <div data-bbox="1043 302 1361 510" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○時間をかけないで、直感で予想させる。</li> <li>○児童の言葉をもとに課題を設定する。</li> </ul>	7
<p>2 課題を設定する。</p> <div data-bbox="236 672 411 712" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px 0;"> <b>K4 : ①課題</b> </div> <div data-bbox="440 672 1182 741" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> クリップの数をくふうして数えるほうほうを考えよう。 </div> <p>3 解決の見通しを立て、自力解決する。</p> <div data-bbox="288 887 461 927" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px 0;"> <b>K4 : ②活動</b> </div> <div data-bbox="177 1093 472 1288" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1つつ数えると大変。</li> <li>・10のまとまりをつくる。</li> </ul> <p>〈予想される児童の考え〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10のまとまりを数えると23あったので230です。バラが5個なので235です。</li> <li>・10のまとまりが10集まったら、100になります。100のまとまりが2つ、10のまとまりが3つ、1のまとまりが5つなので235です。</li> </ul> <div data-bbox="555 1144 890 1339" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1人分235個ずつクリップを配る。</li> <li>○10のまとまりを囲む線や、数を書き加えたりさせる。</li> </ul> <div data-bbox="1043 958 1347 1153" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  </div> <div data-bbox="1043 1153 1347 1361" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  </div>	15
<p>4 考えを発表し合い、確かめる。</p> <div data-bbox="288 1480 461 1520" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px 0;"> <b>K4 : ③確認</b> </div> <div data-bbox="177 1547 472 1742" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10のまとまりを数えると23あったので230です。バラが5個なので235です。</li> </ul> <div data-bbox="587 1570 890 1765" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10のまとまりが10集まったら、100になります。100のまとまりが2つ、10のまとまりが3つ、1のまとまりが5つなので235です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各自の考えを理由とともに発表する。</li> <li>○仲間分けをして、よりよい考えはどれかを考えさせる。</li> </ul>	10

<p>評価場面</p> <p>〈学習内容に即した評価規準〉</p> <p>◎クリップの数を10や100のまとまりにして数えようとしている。(ア①)</p> <p>A クリップの数を既習事項をもとに、位取りを意識して、10や100のまとまり、バラに分けて数えようとしている。</p> <p>B クリップの数を10や100のまとまりにして数えている。</p> <p>C クリップの数を10や100のまとまりにして数えていない。</p> <p>〈評価方法〉</p> <p>・観察・発表。</p> <p>〈手立て〉</p> <p>Cの児童に対して…教師が助言をする。</p>				
5	まとめをする。	<p>○児童の言葉を基にまとめられるようにする。</p> <p>クリップの数をくふうして数えるには10のまとまりや100のまとまりにして数える。</p>	3	
6	<p>確かめたことを基にして、3位数の構成や書き方をまとめる。</p>	<p>・10や100のまとまりがいくつあるかを確認し、百を2つ集めた数の読み方を知る。</p> <p>・百が2こで「二百」、十が3ことばらが5で「三十五」、合わせて「二百三十五」ということを知り、「235」と書くことを知る。</p>	<p>○教師側が教える。</p>	5
7	<p>本時の学習を通しての振り返りを書く。</p> <p><b>K4 : ④価値付け</b></p>	<p>・本時の学習を振り返りノートに感想を書き、発表する。</p>	<p>○自分の言葉で振り返りをしっかりかけるようにする。</p>	5

